



トライ ~頭で勝負・体で勝負・心で勝負~

学校教育目標 自ら「学び 考え 動く」生徒の育成

西海市立大瀬戸中学校

令和6年4月8日

第1号発行

文責 島 大輔

新しいメンバーを迎え、生徒数106名、職員数20名で、令和6年度がスタートします。

創立50年目を迎える節目の年に、大瀬戸中学校では、『「トライ」～頭で勝負、体で勝負、心で勝負』をスローガンに掲げました。たくさんの方に挑戦し、得意分野を伸ばす中で、『笑顔あふれる、生徒や職員が生き生きと活動する学校』を目指します。これから、様々なことに、勇気をもってトライする生徒の皆さんを、全力で支え、応援していきます。本校の教育活動に対し、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

では、本年度、新たに着任した職員を紹介します。

| | | |
|------------|-------|--------------|
| 校長 | 島 大輔 | 西海市教育委員会から |
| 教諭(英) | 柳瀬 優平 | 新規採用教職員 |
| 養護教諭 | 永田 早矢 | 長崎市立三重中学校から |
| 事務職員 | 大林枝里子 | 西海市立西海東小学校から |
| 講師(音) | 野口美穂子 | 令和5年度から継続 |
| 学習支援員 | 宮本 夏子 | 令和5年度から継続 |
| 心の教室相談員 | 岩下 弥生 | 令和5年度から継続 |
| スクールカウンセラー | 八重石幸博 | 令和5年度から継続 |



始業式での学年代表及び校長の言葉を紹介します。

『3年生になって』 3年 平岡 幸音

私たちは大瀬戸中学校の3年生、最高学年となりました。

2年生までの私たちを振り返ると、反応を返すことや家庭での学習習慣の改善が反省点として挙げられます。反応を返すところでは、みんなが積極的に発言・反応ができる学級の雰囲気が必要であると考えます。そのためには、発言者の意見をしっかりと聞き、相手が意見を言いやすくすることから始めたいと思います。さらには、うなずきや返事、反応を返し、意見のキャッチボールがたくさんできるようになりたいです。そのことで、自分たちの考えを明確にでき、自分自身のことについて深く考えられるようになると思います。

また、学習面においては、自分たちの夢や希望が実現できるように、家庭での学習時間を増やし、授業はもちろん、自主的な学習に積極的に取り組み、力を伸ばしたいと思います。今年は、受験を控えています。まずは、将来どんな生き方をしたいのか考えることが必要ですが、いざ、実現するときに後悔しないように、毎日の学習にしっかりと取り組める3年生でありたいです。

部活動においては、最後の大会となる市の中総体が5月に迫っています。いい結果が残せるよう部活動のみんなと協力し、練習に励んでいきたいです。

最後に最高学年としては、大っ中の伝統をつないでいきたいと考えています。特に、ワンストップ挨拶に力を入れ、3年生が下級生のお手本となり取り組んでいきます。みなさん、どうぞよろしくお願いいたします。



『新学期の抱負』 2年 代田 結衣

私たちは、中堅学年の2年生になりました。先輩方を支えながら、後輩にとって身近な上級生として、きちんとアドバイスできる学年になることが目標です。

1年生では、最初の頃とくらべて、学習に対する意欲が高まってきたと思います。係活動や行事など、学級全体で力を合わせて取り組むこともできました。授業前着席や黙想、積極的な発言など、進んで学校生活をより良いものにしようとする人が多くなったと思います。

しかし、課題もあります。まず、必要なことは授業への集中力を高めることです。これから更に、学習内容が増え、より専門的に深めていくので、授業に集中して取り組み、復習に努めることが必要です。授業態度を良くすることで、学ぶ楽しさが増すと思うので、頑張っていきたいです。

私自身が2年生で頑張りたいことは、「部活動」です。後輩に優しく接し、頼られる先輩になりたいです。こう思ったきっかけは、私自身が先輩方と交流することが十分にできなかったからです。卒業式前に、部活動を通して、もっと先輩方と交流して、仲を深めたかったと思いました。これからは、学年をこえてつながり、楽しく交流していきたいです。

2年生では修学旅行もあるので、仲間とのつながりも更に深めていきたいです。また、学校以外の場面でも、多くの人と接しながら積極的にコミュニケーションをはかり、様々な体験をしたいと思います。

この一年が私たち一人一人の力を更に高め、集団としても大いに活躍できるように頑張っていきます。

『 校長からの言葉 』

今日から3年生は最上級生として、2年生は中堅学年としての生活が始まります。新しい年度を迎えるにあたって、皆さんの心に、これまでとは違う、新たな気持ちが生えているのではないのでしょうか。

私は、幸運にも、3月に行われた卒業式に出席することができました。式中、卒業生やその保護者の方々の涙を見て、この中学校生活がとても素敵なものだったのだと、肌で感じることができました。

そして、このように素晴らしい卒業式ができたのは、在校生として参加したみなさんの存在があってこそ、だったと思っています。あの静寂さと、あの厳かな雰囲気は、卒業生だけで作ることはできませんし、卒業生の感動を呼ぶ「送る言葉」、そして、「お別れの合唱」は、在校生にしか作ることはできません。みなさんの動きの一つ一つに、卒業生への思いが込められており、たいへん素敵なものとなりました。中にはじっと我慢することが、中には歌が苦手な人もいたでしょう。よく頑張りました。

さて、式の中で、伊東校長先生が、みなさんに対し、「たくましく、しなやかに」という言葉を使って、話しかけられたのを覚えていますか？世の中が、新しい時代に突入り、人工知能AIやドローン、自動車の自動運転に代表されるように、科学技術の進歩が著しく、これまで無かったものが、次々に生まれています。ICTも急速に進化しました。身近なところでは、少し前までは困難だった、オンラインでの会話が、パソコンやスマートフォンのカメラ機能を使って、誰でも手軽に行えるようになりました。そうした変化の激しい時代にあって、これからの時代を生きていくみなさんには、しなやかに、時代に対応していく力となる、「新しいことを学ぶ姿勢」や「何事にも柔軟に対応する力」を身につけてほしいと願っています。

また、2月28日には、とても嬉しいことがありました。それは何だと思いませんか？

そう、「校内たすきリレー大会」です。そこにも、素敵なことがたくさんありました。

まず、たすきを受け取った一人一人の走る姿が、本当に一生懸命だったこと、その一生懸命な仲間を温かく見守り、支え、応援する姿があったこと、また、走るのが得意な人が苦手な人のことを、走りや気持ちの面で、しっかりとサポートしてくれていたこと、さらに、自分たちの力で、立派に大会を運営していたこと。そして、何よりも、みんながとても楽しそうだったこと。

チームでまとまって、声をかけ合いながらウォーミングアップをしたり、全力で「がんばれ」「ファイト」と声援を送ったり、走り終えた人には、「おつかれ」「よくがんばったね」など、ねぎらいや称賛の言葉がたくさん飛び交っていました。

そんな、みなさんがいる学校で、この始業式を迎えることができ、本当に嬉しいです。

みなさんと、これから、いろいろなことに挑戦できると考えただけで、ワクワクが止まりません。共にがんばっていきましょう。

私は、令和6年度、この大瀬戸中学校のスローガンを「トライ」にしたいと考えています。明日の入学式では、2つの願いをしようと思っています。1つ目は「夢を持ち続けてほしい」ということ、2つ目は「多くのことに挑戦してほしい」ということです。この2つは、皆さんに向けてのメッセージでもありますので、詳しくは、明日の入学式で話をしたいと思います。

明日の入学式では、みなさんの素晴らしい姿を、新入生に見せてあげたいですね。まずは、卒業式の時のように、歓迎の拍手で、そして、歌で、大瀬戸中学校の「元気」を表現しませんか。ただし、こればかりは、1人2人ががんばっても、うまくはいきません。だからこそ、あの「たすきリレー」の時のように、みんなを心ひとつにし、支え合い、大っ中学生の底力を示しましょう。そして1年生をびっくりさせましょう。特に、大瀬戸中学校の校歌は、とても元気の出る曲調だと思います。勇気を出して、力強く、1年生、保護者、地域の方に、大瀬戸中学校の「元気」を届けましょう。

ここからが、わたしたちの「トライ」の始まりだと思っています。

